

# 兵解協だより

## 新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と良いお年をお迎えになられましたこととお喜び申し上げます。

さて、令和になって初めての正月を迎えましたが、昨年は5月末で「改正建設業法」が完全施行され「解体工事業」が完全独立するとともに、会員の皆様方のご理解とご協力により「兵庫県解体工事業協会」が9月に「一般社団法人」を設立するなど、当協会にとっても、将来の限りない発展に向けた節目の年となりました。

一方では、上越・関東・東北地方に台風15号、同19号、さらにその後の「大水害」が甚大な被害をもたらしました。このように、地震災害のみならず、風水害等による自然災害が猛威を振いました。地球温暖化の影響で、今後益々被害が拡大することが予想されております。このため、政府・公共団体などの関係機関による「防災・減災対策」が早急に実施されることを、期待するとともに、災害の発生時に「防災協定」に基づく人命救助、倒壊建物等の解体撤去等が迅速に対応できる、協会の執行体制を強化し、積極的に「社会的貢献」を推進していくことに努力していく必要があります。

この他、解体工事業を取り巻く社会経済情勢は、依然として厳しいものがあり、深刻な人手不足や高齢化社会がますます進展し、後継者の育成、技術の伝承など様々な課題が山積みとなっておりますが、「一般社団法人」の設立を機会に兵庫県解体工事業協会といたしましては、協会員一丸となり、結束をさらに深め、これらの課題を克服し、「協会」の飛躍的な発展が出来るよう努力してまいりてまいります。

この様な取り組みとともに、解体工事業の団体・企業が全体としてレベルアップを図ることが必要で、このためには「法令の遵守」、「技術力のさらなる向上」、「さらなる社会的貢献」を推進していく必要があります。今後協会員の皆様方と協力し合って、協会のさらなる発展のために共に努力をしてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、当協会にご理解とご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。また、協会員の皆様方をはじめ、関係各位の皆様方のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

令和2年元旦

一般社団法人

兵庫県解体工事業協会

理事長 上原 満

